

平成 27 年 10 月 6 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

三井住友建設株式会社に「S M B C なでしこ融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、三井住友建設株式会社（代表取締役社長：新井 英雄）に対し、「S M B C なでしこ融資」を実施致しました。

「S M B C なでしこ融資」は、融資実行時にお客さまの女性活躍推進の取組み状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、現状の取組状況の分析や今後の課題、その課題への取組事例などをご提供させて頂く融資商品です。

今回対象となりました、三井住友建設株式会社に対する診断結果は、「今後、女性活躍が期待できるグロース企業」となりました。

特に、三井住友建設株式会社では、以下のような取組みを展開しておられます。

社員区分変更制度を設け、本人の意向に応じて、全国転勤型の総合職と勤務地限定型の総合職を選択できるようにするなど、柔軟な対応を実施しているほか、意欲や能力が高い社員に対しては、一般職から総合職への区分変更を可能とし、より責任あるポジションにつく機会を提供。

社外取締役に女性を登用し、経営幹部への多様な人材登用を進めているほか、多様な働き方の実現に向けて平成 26 年から「時短プログラム」を設け、管理職の人事評価に部下の時間外労働の取組み度合いを反映する制度を導入し、労働時間の適正化や年次有給休暇の取得率向上などに結実。

育児休業開始日より 10 営業日を有給化することによって、男性社員も含めて育児休業の取得を促すとともに、現場所長も含めた管理職向けのダイバーシティ研修や女性部下をもつマネージャー向けの研修を始めるなど、男性社員も含めた意識改革を実施。

さらに同社では、今後のさらなる女性活躍推進に向けて、経営トップが、「当社は、経営理念のひとつに『社員活力の尊重』を掲げ、多様な人材が活躍できる企業風土づくりを進めています。なかでも、女性活躍推進は当社の持続的な成長に不可欠なものであり、女性が積極的にこの業界へ進出し生き生きと活躍できるよう、各種制度の見直しやキャリア形成支援を行うとともに、ワークライフバランスの実現や、すべての社員が能力を十分発揮できる働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでまいります。」と宣言し、具体的な取組みの進化に向けた目標として、

- ・今後の新卒採用者における女性総合職の比率を 15%以上とする。また、女性が活躍できる職域の拡大を推進する。
- ・技術系女性社員ならびに女性管理職を 2019 年度までに 2014 年度から倍増、2024 年度までに同 3 倍以上にすることを目指す。

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。

- ・女性のキャリア形成支援のための教育と研修を実施する。
 - ・仕事と家庭の両立支援策の充実を図る。
- をコミットしておられます。

三井住友銀行では、「S M B C なでしこ融資」により、お客さまの女性活躍推進に向けた取組みを、金融を通じて応援してまいります。

- () “見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、平成 24 年度より経済産業省と東京証券取引所が共同で実施している「なでしこ銘柄」の選定業務を受託する等、豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所(代表取締役社長: 淵崎 正弘)に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。